

# 京田辺市複合型公共施設整備 基本計画検討懇話会 (第2回)

令和7(2025) 年9月26日 (金)

## 議題

施設でのアクティビティと施設規模

## これまでの検討状況

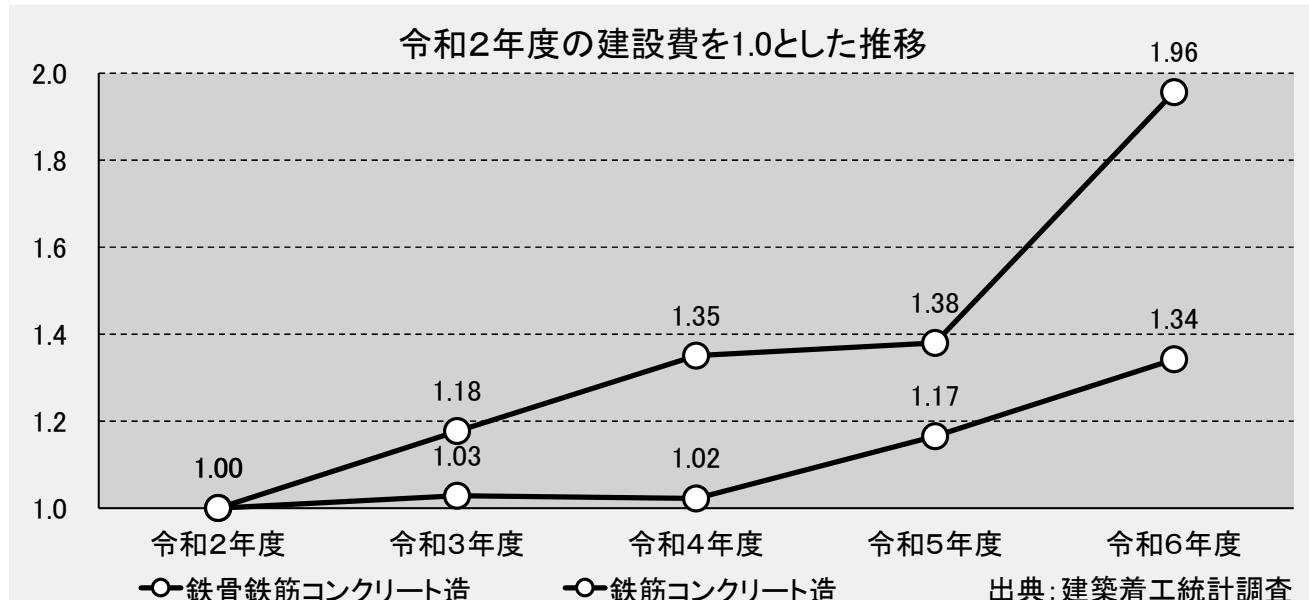
3

## 基本構想をベースとしたこれまでの検討案

項目	面積	備考
文化ホール	約2,200m <sup>2</sup>	500席程度 ※前舞台(「どんちゅう」より客席寄りの舞台)を使用した場合も400席を確保
公民館機能	約900m <sup>2</sup>	現中央公民館と現中央図書館の会議室等諸室の合計:約850m <sup>2</sup>
図書館機能	約2,500m <sup>2</sup>	現中央図書館:約1,630m <sup>2</sup>
共用機能	約2,600m <sup>2</sup>	ロビー(ひろば)、階段、廊下、トイレ等
併設機能	約300m <sup>2</sup>	こども支援機能、市民交流促進機能
管理機能	約1,500m <sup>2</sup>	事務所、機械室等
延床面積	約10,000m <sup>2</sup>	

4

# 近年の建設費の推移



建設費縮減のため施設規模の検討が必要

単純な施設規模の縮小ではなく、これまでの市民参画により積み上げてきた  
「やりたいこと(アクティビティ)」が実現できる施設規模を確保する

5

## 施設で想定されるアクティビティの整理

市民意見聴取の結果をふまえ、施設で想定されるアクティビティを抽出した。

アクティビティ	具体的な内容
観る・見る・聞く	コンサート、ライブ、ミュージカル、映画上映、展示
体験・参加する	発表会、各種講座、講演会、パーティー、ワークショップ、活動練習、マルシェ・フェスイベント、伝統文化、市民参加プログラム
つくる	陶芸、3Dプリンター、各種造形・工作、本格的な商品開発(飲食)
くつろぐ・集う	ふらっと自由に立ち寄る、夜も開いている、幅広い年代・多様な人との交流、ひとりでも・みんなでもくつろげる
知る・学ぶ・調べる	勉強、リモートワーク、京田辺を知る、出前講座
読む	紙の本を読む、読み聞かせ
相談する	子育て相談、カウンセリング
食べる	京田辺の野菜を食べる、こども・みんなの食堂
遊ぶ	落書き、ゲームする、こどもが自由に過ごせる、ひみつ基地
体を動かす	ミニ運動会、卓球、ボルダリング、健康に関する情報交流
働く	こどもが店をだす、就労支援、チャレンジショップ

6

# 施設で想定されるアクティビティの整理

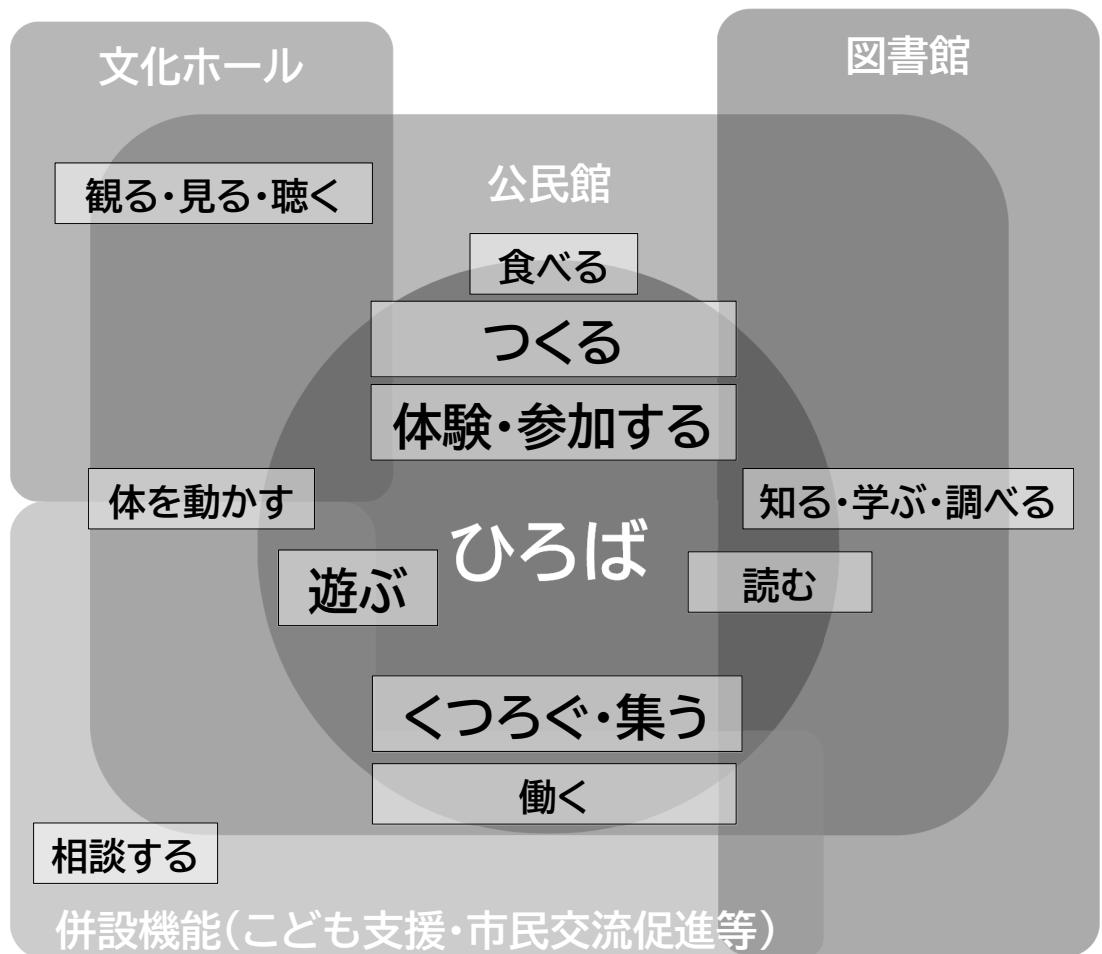
さらに、アクティビティが主に施設機能のどこで発生するかを整理した。

施設機能 アクティビティ	ホール	多目的室	創造支援アトリエ	創造支援練習	和室	調理室	図書館	併設機能 子育て支援 市民交流促進	ひろば
観る・見る・聞く	◎	○							○
体験・参加する	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○		○
つくる	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	○
くつろぐ・集う							○	○	○
知る・学ぶ・調べる		◎	○	○	○	○	◎		○
読む							◎		○
相談する								◎	
食べる						○			○
遊ぶ								◎	○
体を動かす	○	○							○
働く							○	○	○

7

# 施設で想定されるアクティビティの整理

施設機能と  
アクティビティ  
相関図



8

# 文化ホール機能

9

## これまでの検討状況（文化ホール機能）

内容	
客席	<ul style="list-style-type: none"><li>・前舞台を使っても400席で利用できることを想定し、500席程度を確保</li><li>・親子等で鑑賞できる空間の確保や、車いす席を複数箇所に設置するなど、多様なニーズに対応する客席を設置</li><li>・実演芸術だけではないさまざまな利用ニーズが増えることを見越して、客席は可動式とし、平土間形式へと可変する空間とする</li></ul>
舞台	<ul style="list-style-type: none"><li>・多様な舞台芸術等に対応するプロセニアム形式とする</li><li>・主舞台（演技エリア）は、6間角（約10m×約12m）程度とする</li><li>・オーケストラや吹奏楽等の生音演奏に適した空間となるよう、音響反射板を設置</li><li>・音響反射板内側の舞台の広さは、吹奏楽やオーケストラの使用を考慮</li></ul>
ホワイエ	<ul style="list-style-type: none"><li>・来場者が開演前、幕間に居心地よく過ごせる空間</li><li>・ホールでのイベントがない時には共用部と一体となった開かれた空間として利用</li><li>・客用トイレは十分な数の便器を設け、車いすや乳幼児連れに対応したトイレの設置等、多様なニーズに配慮</li></ul>
バックヤード	<ul style="list-style-type: none"><li>・楽屋は必要最低限の諸室数とし、大人数での利用時には公民館機能の会議室等を楽屋として兼用</li><li>・バックヤードエリアは舞台へアクセスしやすいことや、関係者以外がアクセスできないような動線・ゾーニングに考慮した位置に設置</li><li>・出演者がくつろぐためのラウンジ・給湯室や出演者用のトイレ・シャワールームを設置</li></ul>

# 検討事項（文化ホール機能）

## 客席数

主な使い方を踏まえて客席数を決定

- ・市民活動の発表会
- ・小編成のクラシックコンサート・リサイタル
- ・文化祭
- ・社会教育事業

## ホワイエ

ホワイエは、文化ホールが使用されていない時は利用されないため、「重ね使い」を検討

11

## 文化ホールの使い方と客席数の関係

### 客席数と演目特性

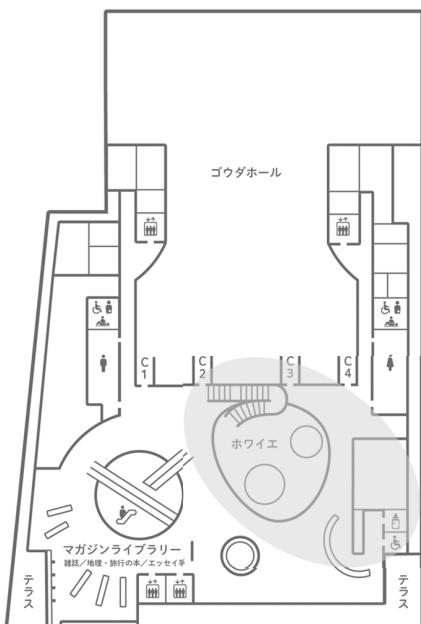
基本構想																	
	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000	1600						
視覚上の識別度	舞台に立つ主演者非常に細かい表情まで識別可能						細かい表情や細かな動作が識別できる			身振り手振りによる大きな表現が識別できる							
聴覚上の識別度	ささやきによる伝達可能 演劇的語り言葉による伝達可能						歌等による大きな声の発声法が必要										
客席階数	1階で充分対応できる			1~2階層				2~3階層									
規模別の演目適正	創作オペラ・オペレッタ・室内オペラ モダンバレエ・ダンス・舞踊						ミュージカル										
	演劇						商業演劇										
	パフォーマンス						歌舞伎										
	寄席能日本舞踊文楽						オーケストラ										
	室内樂・ソロ						ポピュラー音楽										
	ライブコンサート						グランドオペラ										
	創作オペラ・オペレッタ・室内オペラ モダンバレエ・ダンス・舞踊						ミュージカル										
使い方の想定 (基本構想より)	市民活動の発表会						オケ・吹奏楽の演奏会										
	ワークショップ						近隣自治体ホールの利用										
	社会教育事業						大阪・京都等へのアクセスが良好なためプロモーターニーズは低										
	小規模な発表会等						興行公演										
市民文化活動団体 が利用する 近隣の主なホール	文化祭						アマチュアユース(地域の文化団体等)										
	日常練習						主なホール利用者										
	アマチュアユース(地域の文化団体等)						ホールの位置づけ・性格										
★京田辺市商工会館キララホール(180席・市内) ★秋篠音楽堂(306席・奈良市) ★文化バルク城陽ふれあいホール(324席~400席・城陽市) ★京都市吳竹文化センター(600席・京都市)																	

12

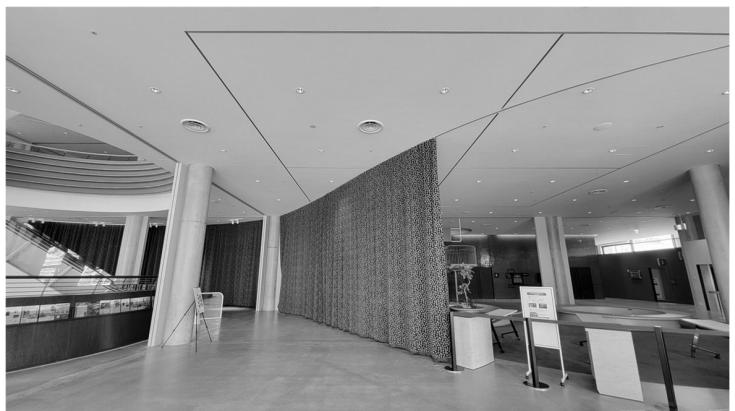
# ホワイエの重ね使いの事例

## 茨木市文化・子育て複合施設 おにくる

- 普段は、共用部のフリースペースとして利用可能
- 文化ホールでの公演時には、共用部をカーテンで仕切ってホワイエとして利用



普段の状況（共用部のフリースペース）



ホワイエとしての利用状況（カーテンの向こう側）

13

## 公民館機能

14

# これまでの検討状況（公民館機能）

	内容
多目的室	<ul style="list-style-type: none"><li>・小規模なコンサートや発表会等、幅広い利用に対応</li><li>・ホール主舞台同等サイズを確保(ホール公演時のリハーサル利用を想定)</li><li>・共用部(ひろば機能)との一体利用が可能な配置・設え</li></ul>
会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・間仕切りによる規模の変更(20名以下の利用に適した部屋を複数確保)</li><li>・練習室やアトリエとして利用できる設え</li><li>・併設する行政機能の会議室としても利用</li></ul>
練習室	<ul style="list-style-type: none"><li>・音楽(生音・電気音響)・ダンス等の実演芸術</li><li>・利用人数に対応した複数の部屋を設置</li></ul>
アトリエ	<ul style="list-style-type: none"><li>・美術・工芸・陶芸・書道・生け花などの活動に対応</li><li>・水の使用が可能な設え</li></ul>
調理室	<ul style="list-style-type: none"><li>・調理台5台程度を設置</li><li>・共用部(ひろば機能)や屋外空間との一体利用が可能な配置・設え</li></ul>
和室	<ul style="list-style-type: none"><li>・茶室利用できる設備</li></ul>
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"><li>・小規模な展示が簡易に可能なギャラリー</li><li>・共用部の壁面の一部を活用</li></ul>
郷土資料展示	<ul style="list-style-type: none"><li>・共用部の一部で展示</li></ul>

15

## 検討事項（公民館機能）

### 多目的室の重ね使い

- ・文化ホールのリハーサル利用への対応のため、主舞台と同等規模
- ・練習利用の他、小規模なコンサートや発表会、ダンス、ギャラリー等、多様な利用を想定

### 会議室・創作活動室

- ・会議室は、利用人数に応じた部屋の分割
- ・視聴覚機材、防音設備、水回り、鏡・手摺り等、多様な文化活動に対応した設備
- ・創作活動室の会議室利用
- ・併設する行政機能の会議室や、自習・グループ学習への活用

### ギャラリー・郷土資料展示

- ・多目的室での絵画や絵画等の展示
- ・共用部（ロビー）の一角落や壁面を活用した展示

16